

令和 6 年 12 月 マーケット・トレンド・レポート

国際情勢

- 韓国の尹錫悦大統領に対する拘束令状の再請求が認められ、「戒厳令」をめぐる国内治安が継続しています。
- カナダでは首相が辞任、アメリカではドナルド・トランプ氏が次期大統領に正式決定、1 月 20 日就任を控え、外交政策への注目が高まる。
- 現職のバイデン大統領は、日本製鉄による米国スチール買収計画を阻止する動き。日本製鉄は米政府を提訴し、日米関係への影響が懸念されます。

国内経済・政策・流通動向

- 「103 万円の壁」の見直しが決定、123 万円の与党税制大綱が決定。2025 年からの適用予定で、経営政策の転換点となる可能性が有り。
- 米投資ファンド KKR が西友売却を検討中。流通業界ではイオンやパン・パシフィック・インターナショナル HD などを目指して検討中。
- クスリのアオキが関西・関東・東北で買収拡大・11 月に関西進出のオーケーストア 1 月 23 日に 2 号店を西宮に開店、ロピア青森県に開業、流通業界の大きな変化が続いています。

気候影響と農業

- 太平洋側では記録的な少雨、日本海側では過去最高の積雪が観測され、農作物生産に深刻な影響を与えています。
- 農林水産省は取引の透明性に向け、肥料・燃料コストの転嫁を事業者に促進する法案の提出を準備中との事。

健康・社会動向

- 厚生労働省による健康寿命の発表（女性 75.45 年、男性 72.57 年）。医療環境の改善と健康意識の向上が優先される。食と健康分野の市場の成長が期待されます。
- エンタメ業界では、不祥事に伴う広告・出演の差し替え事例が発生。改めてコンプライアンス重要性が問われる事案が顕在化しています。

スポーツとポジティブな話題

- 大谷翔平選手に関する報道が引き続き注目。プライベートの話題も含む過剰な報道傾向への指摘がありますが、スポーツ分野～明るい話題となっています。

* 総評と今後

世界的な政治情勢不安と国内の政策転換が進んで、健康意識や業界流通の動きが、今後の経済成長の一助となる可能性が垣間見て取れました。国内の課題への対応が重要となる月でした。